

日本医療研究開発大賞受賞者（1）

賞名	受賞者団体・受賞者名	タイトル	受賞のポイント
内閣総理大臣賞	東北福祉大学感性福祉研究所 特任教授 小川 誠二	機能的MRIの開発	MRI画像信号が血液中の脱酸素ヘモグロビンの量によって変わることを見出。この効果を利用した機能的MRIの実用化により脳の機能を非侵襲的に画像化することが可能となった。
健康・医療戦略担当大臣賞	理化学研究所環境資源科学研究センターケミカルゲノミクス研究グループ グループディレクター 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 吉田 稔	エピジェネティクス制御を分子標的とした創薬基盤研究	化合物の作用に基づく遺伝子発現制御機能を解明。エピジェネティクス(遺伝子発現の制御)研究を先導。
文部科学大臣賞	京都府立医科大学大学院医学研究科分子標的癌予防医学 教授 酒井 敏行	がん抑制遺伝子の再活性化によるがん治療薬トラメチニブの見出	がん抑制遺伝子に着目したスクリーニング法を開発し、製薬企業と共同で画期的ながん分子標的薬を見出。悪性黒色腫の第一選択薬として60カ国以上で使用。
厚生労働大臣賞	東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻 教授 石原 一彦	生体親和性バイオマテリアルMPCポリマーの開発	体内で血液凝固等の反応を起こしにくい生体適合素材MPCポリマーを開発。カテーテル、人工関節など体内に入れる医療機器のほか、コンタクトレンズ、化粧品等に利用。
経済産業大臣賞	○日本電子株式会社 ○株式会社CeSPIA	クライオ電子顕微鏡の研究開発	極低温で観察するクライオ電子顕微鏡の実用化・市場導入により、創薬標的の高分解能での構造解析を可能とし、次世代創薬の研究開発基盤構築に貢献。

日本医療研究開発大賞受賞者（2）

賞名	受賞者団体・受賞者名	タイトル	受賞のポイント
AMED理事長賞	九州大学 循環器病未来医療研究センター 助教 朔 啓太	心筋梗塞時の心筋壊死を極小化する迷走神経刺激カテーテル装置開発	迷走神経刺激に特化したバスケット型カテーテル装置を開発。心筋梗塞後心不全の治療に期待。
AMED理事長賞	東京大学医科学研究所 分子発癌分野 准教授 坂本 毅治	酸素センシング機構を標的とした安全性の高いがんの抗転移薬の開発	がんの転移や再発に関する微小環境の病態解明に貢献。新たな治療戦略として抗転移薬の開発に期待。
AMED理事長賞	浜松医科大学医学部 精神医学講座 教授 山末 英典	オキシトシン経鼻剤による自閉スペクトラム症中核症状への初の治療薬開発：脳画像／ゲノム解析の応用	治療法が確立していない自閉スペクトラム症の薬物治療法として期待。
AMED理事長賞	大阪大学微生物病研究所 教授 山本 雅裕	宿主免疫系による病原性寄生虫感染症の制御機構の解明	トキソプラズマ原虫感染症をモデルに、進化した免疫系の巧妙なメカニズムを解明。最先端の寄生虫免疫学を用いた新たな治療戦略への貢献に期待。